

各学年の指導事項と授業時数の配当（第5・6学年）

学年	月	ページ	単元名	教材名	学習指導要領の内容			配当時数	
					伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項		その他の指導事項		
					(2)の事項	(1)の事項			
5	4	表2-P1		学習の見通しをもとう	ア・イ・ウ		適宜		
		P2-3		学習の進め方	ア・イ・ウ				
		P4-5		書くときのしせい/筆記具の持ち方	イ				
	5	P6-7	1 字形を整えて書こう	ほ先の動きと点画のつながり 1	ウ	ウ(ア)		毛4～5	
		P8-9		ほ先の動きと点画のつながり 2	ウ			毛4～5	
	6	P10-11		すばやく書き留めるために 〈国語〉	ア	イ(ウ), ウ(ア)	A(1)ア, (2)ア	硬1～2	
		P12		【もっと知りたい】自分の文字を見つめる	ア	ウ(ア)		硬1～2	
	7	P13		筆順と字形	ア	ウ(ア)		硬1	
		P14-15		部分の組み立て方 1 (にょう)	ウ	ウ(ア)		毛4～5	
	10	P16		部分の組み立て方 2	ア	ウ(ア)		硬1	
		P17		【もっと知りたい】手書き文字と活字	イ	ウ(ア)		硬1～3	
	11	P18-20		2 読みやすい紙面構成を考えよう	文字の配列	ア	イ(ウ), ウ(ア)		毛3～4
		P21-23			用紙に対する文字の大きさ	ア・ウ	ウ(ア)		硬1
	P24-25	筆記具の選たく	ア・イ		イ(ウ), ウ(ア)		毛5～6 硬0～1		
	12-3	P26-29	3 学習したことを生かして書こう	書きぞめ	ア・イ・ウ	イ(ウ), ウ(ア)		毛4	
		P30-31		五年生のまとめ	ア・イ・ウ	ウ(ア)			
	適宜	P32-33	資料	手紙の書き方	ア・イ	イ(ウ), ウ(ア)	B(1)ウ・オ		
		P34-35		はがきの書き方/げんこう用紙の使い方/新聞の書き方の工夫	ア・イ	イ(ウ), ウ(ア)	B(1)ウ・オ, (2)イ・ウ		
P36-37		漢字のいろいろな書き方/平仮名/片仮名/ローマ字		ア	ウ(ア)				
P38-39		四年生で学習した漢字/字形の整え方		ア	ウ(ア)				
P40-42		五年生で学習する漢字		ア・ウ	ウ(ア)				
P47		【もっと知りたい】はんこの作り方		ウ			毛1		
6	4	表2-P1		学習の見通しをもとう	ア・イ・ウ		適宜		
		P2-3		学習の進め方	ア・イ・ウ				
		P4-5		書くときの姿勢/筆記具の持ち方	イ				
	5	P6-7	1 字形を整えて書こう	部分の組み立て方 1 (三つの部分)	ウ	ウ(ア)		毛3～4	
		P8		部分の組み立て方 2	ア	ウ(ア)		硬1～2	
	6	P9		筆順と字形	ア	ウ(ア)		硬1～2	
		P10-11		用紙に合った文字の大きさと配列	ア・ウ	ア(ア), イ(ウ), ウ(ア)		毛3～5	
	7	P12-13		情報による文字の大きさと配列	ア・イ	イ(ウ), ウ(ア)		硬1～2	
		P14-15		情報を効果的に伝えるために 〈国語〉	ア・イ	イ(ウ), ウ(ア)	B(1)エ・オ, (2)ウ	硬1～2	
	10	P16-18		3 効率のよい書き方のリズムを身につけよう	ほ先の動きと点画のつながり	ア・ウ	ウ(ア)		毛6
		P19			【もっと知りたい】自分の文字を見つめる	ア	ア(ア), イ(ウ), ウ(ア)		硬1
	P20-21	【もっと知りたい】文字の歴史			ア	ウ(イ)		硬+毛1	
	11-12	P22-27		4 学習したことを生かして書こう	書きぞめ	ア・イ・ウ	イ(ウ), ウ(ア)		毛6～7 硬0～1
		P28-29	六年生のまとめ		ア・イ・ウ	イ(ウ), ウ(ア)		毛4	
	1-3	P30-31	未来に向かって	ア・イ・ウ	イ(ウ), ウ(ア)	B(1)オ, (2)ア	毛2～3 硬0～1		
		P32-33	手紙の書き方	ア・イ	イ(ウ), ウ(ア)	B(1)ウ・オ			
	適宜	P34-35	資料	はがきの書き方/エアメールの書き方/げんこう用紙の使い方	ア・イ	イ(ウ), ウ(ア)	B(1)ウ・オ		
		P36-37		ノートの工夫/新聞の書き方の工夫/電話メモの取り方	ア・イ	イ(ウ), ウ(ア)	B(1)ウ・オ, (2)イ・ウ		
P38-39		漢字のいろいろな書き方/平仮名/片仮名/ローマ字		ア	ウ(ア)				
P40-41		五年生で学習した漢字/字形の整え方		ア	ウ(ア)				
P42-44		六年生で学習する漢字		ア・ウ	ウ(ア)				
P49		【もっと知りたい(発展)】速く、読みやすく書くには		中・1年イ			硬+毛1		

学習指導要領の内容（第5・6学年） ※該当箇所抜粋

A 話すこと・聞くこと	(1)指導事項	ア 考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係付けること。
	(2)言語活動例	ア 資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりすること。 ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。
B 書くこと	(1)指導事項	エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。 オ 表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。
	(2)言語活動例	ア 経験したこと、想像したことなどを基に、詩や短歌、俳句をつくったり、物語や随筆などを書いたりすること。 イ 自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること。 ウ 物事のよさを多くの人に伝えるための文章を書くこと。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	(1)ア 伝統的な言語文化に関する事項	(ア) 親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章について、内容の大体を知り、音読すること。
	(1)イ 言葉の特徴やきまりに関する事項	(ウ) 送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。
	(1)ウ 文字に関する事項	(ア) 第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 (イ) 仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。
	(2)書写に関する事項	ア 用紙全体との関係に注意し、文字の大きさと配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書くこと。 イ 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くこと。 ウ 毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。
(中) 第1学年（書写に関する事項）	イ 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。	

年間指導計画 6年

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準	
4月	学習の見通しをもとう [教科書 巻頭] ◎5年生までに学習したこと、6年生で学習することを確かめ、学習の見通しをもつことができる。[伝国(2)ア・イ・ウ]	適宜	1教科書「学習の見通しをもとう」を見て、5年生までに学習したこと、6年生で学習することを確かめる。 2「六年生のめあて」を確かめる。	【関】 6年生の学習の見通しをもち、学習への意欲を高めている。 【知】 6年生のめあてを理解している。	
	学習の進め方 [教科書P2-3] ◎学習の進め方を理解することができる。[伝国(2)ア・イ・ウ]		1学習の進め方を知る。 2用具の準備や片付けの仕方を確かめる。	【関】 学習の進め方を知り、書写学習への意欲を高めている。 【知】 書写の学習の進め方を理解している。	
	書くときの姿勢/筆記具の持ち方 [教科書P4-5] ◎書くときの姿勢や筆記具の持ち方を確かめることができる。[伝国(2)イ]		1書くときの姿勢を確かめる。 2筆や鉛筆の持ち方を確かめる。 3正しく鉛筆を持ち、「湖」「あけびゆらす秋風」を書く。	【関】 書くときの姿勢や筆記具の持ち方を正しくしようとしている。 【知】 書くときの姿勢や筆記具の持ち方を理解している。 【技】 正しい姿勢と鉛筆の持ち方で書いている。	
1. 字形を整えて書こう					
5月	部分の組み立て方1(三つの部分) [教科書P6-7] ◎三つの部分で組み立てられた漢字の部分どうしの位置や大きさの関係を理解して書くことができる。[伝国(1)ウ(ア),(2)ウ]	毛筆 3~4	1二つの「働」「意」を比べて、三つの部分の組み合わせでできた漢字の字形の整え方を話し合う。 2部分の組み合わせでできた漢字は、部分どうしの位置や大きさの関係を意識して書くとき字形が整うことを知る。 3「湖」の部分の外形をなぞり、部分どうしの位置や大きさの関係を確かめる。 4部分どうしの位置や大きさの関係を意識して、毛筆で「湖」を書く。 5毛筆で学習したことを生かして、硬筆で漢字を書く。 65で書いた文字とP5で書いた文字を比較する。	【関】 三つの部分の組み合わせでできた漢字の字形の整え方を進んで考えようとしている。 【知】 部分の組み立て方について理解している。 【技】 部分どうしの位置や大きさの関係を意識して書いている。	
	部分の組み立て方2 [教科書P8] ◎部分どうしの位置や大きさの関係を意識して、字形を整えて書くことができる。[伝国(1)ウ(ア),(2)ア]		硬筆 1~2	1漢字の部分どうしの位置や大きさの関係(左右・上下・三つの部分)を確かめる。 2漢字の部分どうしの位置や大きさの関係を意識して硬筆で漢字を書く。	【関】 漢字の部分どうしの位置や大きさの関係を意識して、字形を整えて書こうとしている。 【知】 漢字の部分どうしの位置や大きさの関係を理解している。 【技】 漢字の部分どうしの位置や大きさの関係を意識して書いている。
	筆順と字形 [教科書P9] ◎正しい筆順で、字形を整えて書くことができる。[伝国(1)ウ(ア),(2)ア]			1それぞれの漢字の部分の筆順を確かめる。 2筆順と字形に気を付けて、硬筆で漢字を書く。	【関】 正しい筆順で、字形を整えて書こうとしている。 【知】 正しい筆順を理解している。 【技】 正しい筆順で、字形を整えて書いている。
2. 読みやすい紙面構成を考えよう					
6月	用紙に合った文字の大きさと配列 [教科書P10-11] ◎用紙に合った文字の大きさと配列を工夫して書くことができる。[伝国(1)ア(ア),イ(ウ)ウ(ア),(2)ア・ウ]	毛筆 3~5	1何行かにわたって文字を書くときに、どうしたら読みやすくなるかを話し合う。 2何行かにわたって文字を書くときのポイント(文字の大きさ、余白、行間、行の中心、字間)を整理する。 3用紙に合った文字の大きさと配列を考え、小筆または筆ペンで「さみだれを…」を書く。	【関】 用紙に合った文字の大きさと配列を工夫して書こうとしている。 【知】 何行かにわたって文字を書くときのポイントを理解している。 【技】 用紙に合った文字の大きさと配列を工夫して書いている。	
	情報による文字の大きさと配列 [教科書P12-13] ◎伝えたい情報によって文字の大きさと配列を工夫して、読みやすく書くことができる。[伝国(1)イ(ウ),ウ(ア),(2)ア・イ]		硬筆 1~2	1P12とP13のポスターを比べ、情報を分かりやすく伝えるためにどうしたらよいかを話し合う。 2伝えようとする情報の重要性などに合わせて、文字の大きさと配列を工夫する必要があることを理解する。 3筆記具の選択の工夫により、さらに分かりやすくなることを確かめる。 4分かりやすさを意識して、「お知らせ(クイズ大会を…)」を書き直す。 5友達と交換して、どんな点が読みやすく工夫されているかを話し合う。	【関】 伝えたい情報によって文字の大きさと配列を工夫して書こうとしている。 【知】 情報による文字の大きさと配列について理解している。 【技】 伝えたい情報による文字の大きさと配列を工夫して、「お知らせ」を読みやすく書いている。
7月	情報による文字の大きさと配列 [教科書P12-13] ◎伝えたい情報によって文字の大きさと配列を工夫して、読みやすく書くことができる。[伝国(1)イ(ウ),ウ(ア),(2)ア・イ]	硬筆 1~2		1P12とP13のポスターを比べ、情報を分かりやすく伝えるためにどうしたらよいかを話し合う。 2伝えようとする情報の重要性などに合わせて、文字の大きさと配列を工夫する必要があることを理解する。 3筆記具の選択の工夫により、さらに分かりやすくなることを確かめる。 4分かりやすさを意識して、「お知らせ(クイズ大会を…)」を書き直す。 5友達と交換して、どんな点が読みやすく工夫されているかを話し合う。	【関】 伝えたい情報によって文字の大きさと配列を工夫して書こうとしている。 【知】 情報による文字の大きさと配列について理解している。 【技】 伝えたい情報による文字の大きさと配列を工夫して、「お知らせ」を読みやすく書いている。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
7月	情報を効果的に伝えるために <国語> [教科書P14-15] ◎情報が効果的に伝わるように、文字の大きさや配列、筆記具を工夫して書くことができる。[伝国(1)イ(ウ), ウ(ア), (2)ア・イ] ○町のよさが伝わるように工夫してパンフレットを作ることができる。[B(1)エ・オ, (2)ウ]	硬筆 1～2	1 P14・15のパンフレットを見て、筆記具の工夫とその効果について話し合う。 2 情報による文字の大きさや配列について確かめる。 3 町のよさを伝えるパンフレットの記事を書く。 4 情報が効果的に伝わるように文字の大きさや配列、筆記具を工夫してパンフレットを作る。 5 できあがったパンフレットを友達と読み合い、情報を効果的に伝えるために工夫されているところはどこかを話し合う。	【関】 重要な情報が目立って見えるように、文字の大きさ、配列、筆記具を工夫して書こうとしている。 【知】 筆記具の種類とその効果について理解している。 【技】 情報が効果的に伝わるように、文字の大きさや配列、筆記具を工夫して書いている。
9月	3. 効率のよい書き方のリズムを身につけよう			
	ほ先の動きと点画のつながり [教科書P16-18] ◎穂先の動きと点画のつながりを理解して書くことができる。[伝国(1)ウ(ア), (2)ア・ウ]	毛筆 6	1 二つの「ゆり」を見て、文字と文字とのつながりについて話し合う。 2 点画のつながり、文字と文字とのつながりを意識して書くことと、そのよさについて確かめる。 3 「あけび」を書くときの点画のつながりを確かめる。 4 穂先の動きと点画のつながりを意識して、毛筆で「あけび」を書く。 5 小筆または筆ペンで「あけびゆらす秋風」を書く。 6 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で書く。 7 6で書いた文字とP5で書いた文字を比較する。	【関】 点画のつながりを意識して書こうとしている。 【知】 穂先の動きと点画のつながり方、またその効果について理解している。 【技】 穂先の動きと点画のつながり（文字と文字とのつながり）を意識して書いている。
10月	【もっと知りたい】自分の文字を見つめる [教科書P19] ◎日常の自分の文字の課題を見つけ、字形や配列を整えて書こうとする意欲を高めることができる。[伝国(1)ア(ア), イ(ウ), ウ(ア), (2)ア]	硬筆 1	1 硬筆で「天はやつぱり高く遠く…」を書く。 2 ㊦で示されている観点で自分の文字を見つめ、課題を見つける。 3 課題を意識して、もう一度書く。	【関】 自分の文字の課題を見つけ、字形や配列を整えて書こうとする意欲を高めている。 【知】 字形や配列を整えるためのポイントを理解している。 【技】 自分の文字の課題を意識して書いている。
	【もっと知りたい】文字の歴史 [教科書P20-21] ◎文字の歴史を知り、書写学習への関心を高めることができる。[伝国(1)ウ(イ), (2)ア]	硬筆 + 毛筆 1	1 漢字の誕生と伝来、仮名の誕生について知る。	【関】 文字の歴史に興味をもち、書写学習への関心を高めている。 【知】 漢字の誕生と伝来、仮名の誕生について理解している。
11月	4. 学習したことを生かして書こう			
12月	書きぞめ [教科書P22-27・P48-45] ◎これまでに学習したことを生かして書くことができる。[伝国(1)イ(ウ), ウ(ア), (2)ア・イ・ウ]	毛筆 6～7 ・ 硬筆 0～1	1 「たいせつ」を見て、これまでに学習したことを確かめる。 2 これまでに学習したことを生かして、毛筆で「感謝」「ゆずり葉」「風花のまう街」や「新たな決意」を書く。 3 これまでに学習したことを生かして、硬筆で「まもなく、水はサラサラ鳴り、…」を書く。	【関】 これまでに学習したことを生かして意欲的に書こうとしている。 【知】 これまでに学習したことを理解している。 【技】 これまでに学習したことを生かして書いている。
1月	六年生のまとめ [教科書P28-29] ◎これまでに学習したことを確かめ、課題を選んで書くことができる。[伝国(1)イ(ウ), ウ(ア), (2)ア・イ・ウ]	毛筆 4	1 6年生で学習したことを確かめる。 2 6年生で学習したことの中から課題を選び、「旅立ちの朝」を書くときに意識することを書き込む。 3 課題を意識して、毛筆で「旅立ちの朝」を書く。	【関】 自分の課題を選び、意欲的に書こうとしている。 【知】 選んだ課題について、「旅立ちの朝」のどこに関連するか理解している。 【技】 課題を意識して書いている。
2月 3月	未来に向かって [教科書P30-31] ◎これまでに学習したことを生かして、記念になる作品を作ることができる。[伝国(1)イ(ウ), ウ(ア), (2)ア・イ・ウ] ○経験したことや想像したことなどを基に、作品を作ることができる。[B(1)オ, (2)ア]	毛筆 2～3 ・ 硬筆 0～1	1 これまでに学習したことを生かし、将来の夢や感謝状、書写作品集、思い出絵巻物などを書く。	【関】 これまでに学習したことを生かして、意欲的に書こうとしている。 【知】 これまでに学習したことを理解している。 【技】 これまでに学習したことを生かして書いている。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
適宜	資料 手紙の書き方 [教科書P32-33] ◎手紙や封筒の書き方を確かめ、文字の大きさや配列などに気を付けて書くことができる。[伝国(1)イ(ウ),ウ(ア), (2)ア・イ] ○目的や意図に応じて表現を工夫して手紙を書くことができる。[B(1)ウ・オ]	適宜	1 縦書き、横書きそれぞれの手紙文の型とその書き方を確かめて書く。 2 縦書き、横書きそれぞれの封筒の書き方を確かめて書く。	【関】手紙の書き方を確かめて、生活に生かそうとしている。 【知】手紙の書き方・封筒の書き方を理解している。 【技】文字の大きさ、配列などに気を付けて書いている。
	はがきの書き方/エアメールの書き方/げんこう用紙の使い方 [教科書P34-35] ◎はがきの書き方などを確かめ、文字の大きさや配列などに気を付けて書くことができる。[伝国(1)イ(ウ),ウ(ア), (2)ア・イ] ○目的や意図に応じて表現を工夫して書くことができる。[B(1)ウ・オ]		1 はがきの表書きの書き方、絵はがきの書き方を確かめて書く。 2 エアメールの書き方を確かめて書く。 3 原稿用紙の使い方を確かめて書く。	【関】はがきの書き方、エアメールの書き方、原稿用紙の使い方を確かめ、生活に生かそうとしている。 【知】はがきの書き方、エアメールの書き方、原稿用紙の使い方を理解している。 【技】文字の大きさ、配列などに気を付けて書いている。
	ノートの工夫/新聞の書き方の工夫/電話メモの取り方 [教科書P36-37] ◎ノートの書き方の工夫などを確かめ、文字の大きさや配列、書く速さなどに気を付けて書くことができる。[伝国(1)イ(ウ),ウ(ア), (2)ア・イ] ○物事のよさを多くの人に伝えるため、調べたことをまとめることができる。[B(1)ウオ, (2)イウ]		1 ノートの書き方の工夫を確かめて書く。 2 新聞の書き方の工夫を確かめて書く。 3 電話メモの取り方を確かめて書く。	【関】ノートの書き方の工夫、新聞の書き方の工夫、電話メモの取り方を確かめ、生活に生かそうとしている。 【知】ノートの書き方の工夫、新聞の書き方の工夫、電話メモの取り方を理解している。 【技】文字の大きさや配列、書く速さなどに気を付けて書いている。
	漢字のいろいろな書き方/平仮名/片仮名/ローマ字 [教科書P38-39] ◎速く書く必要がある場面では、点画の形や方向、接し方を変えてもよいことを知ることができる。[伝国(1)ウ(ア), (2)ア] ○平仮名・片仮名・ローマ字の書き方を確かめることができる。[伝国(2)ア]		1 速く書く必要がある場面では、点画の形や方向、接し方を変えて書いてもよいことを知る。 2 平仮名・片仮名の筆使い、筆順、外形などを確かめる。 3 ローマ字の文字の高さと位置などを確かめる。	【関】速く書く必要がある場面で使ってもよい書き方を知り、生活に生かそうとしている。 【知】速く書く必要がある場面で使ってもよい書き方を理解している。
適宜	五年生で学習した漢字 [教科書P40-41] ◎5年生で学習した漢字と字形の整え方を確かめることができる。[伝国(1)ウ(ア), (2)ア]	適宜	1 5年生で学習した漢字の筆順や字形の整え方を確かめる。	【関】漢字の筆順や字形の整え方を確かめて書こうとしている。 【技】漢字の筆順や字形の整え方を確かめて書いている。
六年生で学習する漢字 [教科書P42-44] ◎6年生で学習する漢字を確かめることができる。[伝国(1)ウ(ア), (2)ア・ウ]	1 6年生で学習する漢字の筆順や字形の整え方を確かめる。		【関】漢字の筆順や字形の整え方を確かめて書こうとしている。 【技】漢字の筆順や字形の整え方を確かめて書いている。	
3月	【もっと知りたい(発展)】速く、読みやすく書くには [教科書P49] ◎行書について知り、書写学習への関心を高めることができる。[中1伝国(2)イ]	毛筆 + 硬筆 1	1 小学校で学習してきた書体を「楷書」ということ、中学校では楷書よりも速く書ける「行書」を学習することを知る。 2 行書を書いて、楷書との違いを確かめる。	【関】行書に興味をもち、書写学習への関心を高めている。 【知】「楷書」「行書」という語句を覚えている。